

いくせいようちえん いちがつ えん
育成幼稚園 1月 園だより

いちねん この一年も

えんちょう たかち たかし
園長 高地 敬

クリスマスは、ヨーロッパの北の方の国の冬至の祭りの影響で、12月25日に決まってきたという歴史があります。(東ヨーロッパでは1月6日であることが多いようです。)冬至は日が一年で一番短い日で、2021年は12月22日でしたが、その日を境に日が長くなるので、これから確実に春が近づく希望の日でもあります。だからイエス様のお誕生を祝うことと結びついたのでしょう。

日が一番短い、だからその日は日の出が一番遅く、日の入りが一番早いのだ、と思っていたのですが、何年か前にそうではないということに気が付きました。知らなかったのは私だけだったのでしょうか。

奈良県では2021年12月22日の日の出は7時丁度でしたが、2022年1月1日から14日までは7時4分で、その日からだんだん早くなります。この冬に日の出が一番遅いのは1月1日から14日で、冬至の日ではない。

「日が一番短い」としか言われていないのに、日の出が一番遅いと何十年も勝手に思ってきたのでした。「未曾有(みぞう)」を記者会見で「みぞうゆう」と言った大臣がいましたが、恥ずかしくて言えないことも含めて、自分には思い込みがいかにたくさんあるかと思ひ知らされます。

毎日いろんな気づきはあると思いますが、今年もたくさんの思い込みの中で暮らしていくのだと思います。

神様も皆さんも懲りずにお付き合いいただきますようお願いいたします。